ALGAN社製の紫外線センサーの開発及び
筐体の制作に弊社が携わっています。
（3月25日：日経新聞より）

紫外線透過率、簡単に測定

同志社大発ベンチャー

同志社大学発ベンチャーのALGAN（京都市、人羅悠実最高経営責任者）は、化粧品や日焼け止め、サングラスといった製品の紫外線透過率を簡単に測定できる機器（写真）を開発、六月に発売する。実測値を明示して販売促進につなげたい企業の需要を見込む。

機器は携帯電話を一回り大きくしたすし桶にする。常時紫外線を当てても五年間品質が劣化しないアルミニウム窒化ガリウムをセンサーの主要部品として使用。センサーの周囲は紫外線をほとんど透過するアクリル樹脂で覆う。

真夏の場合、一平方メートル当たり二～四マイクロワットに及ぶ紫外線量などを基準として自由に設定。センサーの上で化粧品を塗ったガラス板をかざした紫外線量も測定し、透過率を自動算出する。一台の価格は七万円。化粧品、眼鏡販売店を中心に新規顧客を開拓し、初年度は千台の販売を目指す。

紫外線の量を割り出すメーカーはすでにあるが、透過率を割り出す機能はなかった。メーカーが示した透過率の公正さを裏付ける機器を求める声が消費者から強まっているという。